



H31.1.4 和 保育園発行

あけましておめでとうございます

新しい年がスタートしました。ご家族おそろいで楽しいお正月を迎えられたことと思います。「一年の計は元旦にあり」今年はどうなことにチャレンジしようかなど、目標を親子で話し合うのも良いですね。伸び盛りの子どもたちがどのような変化を見せてくれるのか、今年の成長が楽しみです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします

1月生まれのおともだち

4歳になります。

とあくん



日高 美香先生が
先月、追突事故に遭い
入院加療しましたが体調が
おもしろくなく休職すること
になりました。
早く、良くなりますように
願っています。

～お知らせ・お願い～

- ・今年もインフルエンザの流行が予想されます。体調がすぐれないときは無理をせず、早めに医師の診療を受け、しっかりと休息を取りましょう。
 - ・23日(水)の空港探検につきましては別紙にてお知らせします。
 - ・たんぼぼ・れんげ・つくしさんは**縄とび**をご準備ください。記名をお忘れなく!
 - ・えんぴつ教室が15日から始まります。(毎週火曜日 15:15～16:00)
 - ・2月4日(月)に試食会を予定しています。
- ご希望の方は1月7日～12日の間に200円を添えて担任までお申し込みください。



ご存知でしたか? お正月あそびの由来

☆かるた・語源はポルトガル語のcartaで英語のcardと同じく「紙札」のこと。16世紀半ばに日本に伝来し花札やいろはかるたなどに発展しました。

☆双六(すごろく)・双六あそびの発祥はインド。日本には奈良時代に伝わり、現在のような絵双六ができたのは木版技術が進んだ江戸時代のことです。

☆羽子板(はごいた)・江戸時代に盛んになった羽子板は、はじめ飾り物として用いられていました。歌舞伎の人気役者をモデルにした絵柄の羽子板が流行し、数え歌とともに女兒のあいだで「突き羽根」や「追い羽根」が楽しめるようになりました。

☆独楽(こま)・平安時代に高麗(こうらい、こま)から伝わったため「こまつぶり」とよばれたものが縮まり「こま」になりました。江戸時代に庶民に広まり、曲芸や見せ物が人気を集め、また男児の正月あそびとして流行しました。

☆凧(たこ)・凧の発祥は紀元前のギリシア、中国。日本での呼び名は地方によって異なり「はた」「のぼり」「たつ」「ふうりゅう」など。形や絵柄のデザインもさまざま。また凧揚げは正月あそびとして定着した地域と、5月のこどもの日のころに行われる地域とがあります。

日	曜	行事
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	始業
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	わらべうた
9	水	英語
10	木	
11	金	数あそび・スイミング
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	詩吟・硬筆
16	水	誕生会・英語
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	硬筆
23	水	空港探検(たんぼぼ組)・ たんぼぼさん以外弁当の日・英語
24	木	
25	金	数あそび・スイミング
26	土	大掃除・引き渡し訓練
27	日	
28	月	
29	火	詩吟・硬筆
30	水	英語
31	木	